

科目名	実用英語		英文表記	Practical English		15/03/2017		
科目コード	5003							
教員名	カーマンマコア					作成		
技術職員名	n/a							
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	
全学科			5年	必	学修	2単位	演習	
科目目標【MCC目標】	リスニング、速読英単語を使った語彙の強化とシャドウイング、TOEIC対策(文法、語彙、読解)などを通じて、「読む」、「聴く」、「書く」、「話す」に通じる英語の基礎力を身につける。【III-B】							
総合評価	学年末評価は以下の通りとし、60%以上を合格とする。 定期試験(文法、読解、語彙、ディクテーション)20% + TOEIC IP 20% + Quiz 35% + シャドウイングテストの平均15% + Listeningログ10%							
科目目標達成度	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック				
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック	
	30%	①	語の正しい発音や強勢、文のイントネーション、英文の区切りを理解し、ナチュラルスピードよりも少し遅めのスピードでシャドウイングができるようになる。(機C-5、情C-1、MC-3、生C-2)	シャドウイングテストを実施し、発音やイントネーションの正確さ、流暢さなどを評価する。	語の正しい発音や強勢、文のイントネーション、英文の区切りを理解し、ナチュラルスピードよりも少し遅めのスピードで、流暢にシャドウイングができるようになる。	語の正しい発音や強勢、文のイントネーション、英文の区切りを理解し、ナチュラルスピードよりも少し遅めのスピードで、シャドウイングができるようになる。	よく使う語の正しい発音や強勢、文の基本的なイントネーション、英文の区切りを理解し、ナチュラルスピードよりも少し遅めのスピードで、シャドウイングができるようになる。	
	25%	②	既習の語彙を定着させるとともに、2500語程度の新たな語彙を身につける。(機C-5情C-1、MC-3、生C-2)	単語小テストと定期試験にて単語力を確認する問題を出題する。	毎回の単語小テストで9割以上とることができる。定期試験の語彙問題(ディクテーションを含む)で9割以上とることができる。	毎回の単語小テストで平均7.5割以上とることができる。定期試験の語彙問題(ディクテーションを含む)で7.5割以上とることができる。	毎回の単語小テストで平均6割以上とることができる。定期試験の語彙問題(ディクテーションを含む)で6割以上とることができる。	
	25%	③	YL2.4程度の英語を聞きながら読んで概要を把握できるようになる。(機C-5、情C-1、MC-3、生C-2)	Listeningログによって、英文に慣れるための毎授業の努力を評価する。	毎分100語以上の速度でYL2.4程度の英文を聞きながら読んで概要を把握できるようになる。(機C-5、情C-1、MC-3、生C-2)	毎分100語以上の速度でYL2.0程度の英文を聞きながら読んで概要を把握できるようになる。(機C-5、情C-1、MC-3、生C-2)	毎分100語以上の速度でYL1.8程度の英文を聞きながら読んで概要を把握できるようになる。(機C-5、情C-1、MC-3、生C-2)	
20%	④	TOEIC対策を通じて、文法力や語彙力、読解力を強化する。(機C-5、情C-1、MC-3、生C-2)	定期試験にて文法力や読解力を確認する問題を出題する。	授業中に使用するTOEIC教材の内容を完全に理解し、類似の文法や読解問題が解けるようになる。	授業中に使用するTOEIC教材の内容をほぼ理解し、類似の文法や読解問題が解けるようになる。	授業中に使用するTOEIC教材の内容を6割以上理解する。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	(1)技術者に必要な基礎知識を備え、実践力のある人材を育成する			
	◎	○	○					
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目	①②③	40	35		25	100		

基礎的理解	①②	30	25		17	72	
応用力(実践・専門・融合)	③	10				10	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲	①②		10		8	18	
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の標準的時間配分は、速読英単語を使った語彙の強化およびシャドウイング20分、TOEIC対策20分、単語小テスト10分、Listening30分、その他(授業導入、連絡、予備)10分とする。 ・授業が始まる前に、Listening教材を選び、パソコンの電源を入れ、サーバーにログインしておくこと。 ・Listeningログは毎回、必ず記入すること。 ・「THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 650」、「速読英単語必修編」は、必ず持参すること。 						
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・多読図書音声教材、マルチメディア教材など。 ・「速読英単語」必修編(Z会出版)・新 TOEICテスト直前の技術(アルク出版) ・THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 650 (Gengage Learning) 						

27					
28					
29					
30					
学習時間合計		30	実時間		22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)					標準的所用時間(試行)
①	単語学習・シャドウイング				各4時間×15回
②					
③					
備考欄					